津波ハザードマップの使い方

STEP1 自宅や職場などの位置を確認しましょう。

自宅や職場の位置と標高を確認し、津波が発生したときの行動を日頃から考えておきましょう。

STEP2 自宅や職場付近の想定される浸水深・範囲を確認しましょう。

自宅や職場付近の浸水深や浸水範囲を確認しましょう。
浸水が想定される範囲やその付近では、素早く高台へ避難しましょう。
津波からの避難は、海岸から「より遠い」場所ではなく、「より高い」場所へ。

STEP3 自宅や職場付近の指定避難所を確認しましょう。

指定避難所の位置を確認し、自宅や職場からの距離・標高を確かめましょう。
津波災害時に使用不可の避難所もあるので注意しましょう。

STEP4 低地や危険な箇所を通らないように避難経路を設定しましょう。

指定避難所まで遠い場合や危険な場合は避難目標地点まで設定しましょう。
指定避難所へは津波警報解除後に避難しましょう。

STEP5 設定した避難経路が安全か実際に歩いて確認しましょう。

家庭や町内会等で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。
設定した避難経路に問題がある場合には、避難経路を見直しましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

メモ

マップに使用している地図は、国土地理院長の承認を得て複製しています。
第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければなりません。